

## 事業事前評価表

国際協力機構 民間連携事業部 海外投融資課

### 1. 基本情報

- (1) 国名：ウズベキスタン共和国（以下、「ウズベキスタン」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：ウズベキスタン全土
- (3) 案件名：中小零細事業者支援事業
- (4) L/A 調印日：2023 年 10 月 3 日

### 2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における民間セクターの開発の現状・課題及び本事業の位置付け  
ウズベキスタンの中小零細事業者（以下、「MSME」という。）は同国経済において重要な役割を担っており、MSME は同国 GDP の約 53.9%（同国統計局、2020 年）、就労人口の約 78%（同国統計局、2019 年）を占めている。他方で、MSME の金融アクセスは十分ではなく、資金ギャップは GDP の約 18% に相当し（International Finance Corporation（以下、「IFC」という。）、2018 年）、銀行貸付へのアクセスを有する同国の MSME は約 22%にとどまる等（World Bank（以下、「WB」という。）、2019 年）、同国経済の更なる発展に必要な MSME 振興において、金融アクセス改善は喫緊の課題となっている。

2022 年、ウズベキスタン政府は、同国の開発戦略として「新ウズベキスタン開発戦略 2022-2026」を策定した。同戦略の中で、中小企業振興、それに伴う金融アクセスの改善が主要課題として掲げられている。同国の金融セクターは、社会主義時代の伝統を引き継ぎ、政府が国営銀行に低金利で融資し、国営銀行が優先セクターや国営企業向けに低金利で融資することで、国営銀行が大きく資産を拡大してきた。この結果、同国の金融セクターでは優遇ローンの適格性の確認作業などが中心に行われており、貸付先の信用力やリスクを分析して融資する土壌が育っていないと指摘されている。優遇ローンを受けられない民間企業は、融資を得るため担保や縁故に依存せざるを得ず、担保や縁故を持たない MSME は金融サービスにアクセスし難い状況となっている。こうした環境の中、民間商業銀行は主に MSME を含む民間企業を対象に金融サービスを提供していることから、同国の MSME 振興のためには民間商業銀行が規模や融資能力を向上できるよう活動を支援することが重要になっている（WB、2021 年）。

本事業は同国の大手民間商業銀行の一つである Joint Stock Commercial Bank With Foreign Capital “Hamkorbank”（以下、「HMK」という。）に対して、IFC と協調して長期融資を行うことで HMK の資金調達の拡充を支援し、同国における MSME の金融アクセス改善を図るものであり、当該セクターの課題

やウズベキスタン政府の方針に合致している。

(2) 当該国における民間セクターに対する我が国及び JICA の協力量針と本事業の位置付け

我が国の「対ウズベキスタン国別援助方針」(2022年9月)では、「持続可能な経済成長と産業の多角化・高度化」を重点分野として掲げ、事業展開計画においても中小企業振興に向けた支援に取り組むことを方針として定めており、本事業は同方針に合致する。また、上述のとおり、ウズベキスタン政府は、金融セクターにおいて、国際金融機関の支援を得ながら、①国営銀行の民営化・改革、②民間金融機関の振興、を進めている。これまで JICA は、①に対して WB 等と協調した円借款「新型コロナウイルス危機対応緊急支援借款」や「民間セクター活性化分野の課題別研修・青年研修」等、関係機関への人材育成を通じて協力を行ってきた。「新型コロナウイルス危機対応緊急支援借款」のポリシーマトリクスでは「財源配分の効率化及び金融セクターの透明性向上」を設定しており、国営銀行による国営企業への譲許的な融資の禁止や、国営銀行の取締役の民間人を増やす数値目標等を定め、①に取り組んできた。今回、ウズベキスタンの大手民間銀行である HMK への融資を通じて、②の観点からも本分野への協力を進めることで、これまで実施されてきた JICA 事業や国際金融機関による支援との相乗効果も期待される。同国においては、「園芸作物バリューチェーン強化事業」を通じて、農業開発・農村開発を目的に金融機関を通じた支援を実施している。市場経済移行後の資金需要が旺盛であり、資金ギャップが膨大であるところ、連携して金融機関への支援を実施するものであり、潜在的な相乗効果が期待される。また、ウズベキスタン国別分析ペーパー(2023年)において民間セクターのダイナミズムの阻害や市場原理に基づいた比較優位産業へのシフトの遅れが指摘されており、これらの活動は、主要課題である「産業の国際競争力強化」に資するものである。本事業は HMK への融資を通じ MSME の振興を目指すものであり、JICA グローバル・アジェンダ(課題別事業戦略)の民間セクター開発の「民間企業が成長するための外部環境の整備および金融アクセスの改善、市場アクセスの改善」という目標にも資するものである。

### 3. 事業概要

(1) 事業概要

① 事業の目的

本事業は、ウズベキスタンにおいて、HMK への長期融資を行うことにより、同国における中小零細事業者 MSME の金融アクセスを改善し、もって同国の MSME 振興及び持続的な経済成長に寄与するもの。

② 事業内容

HMK へのバンクローンを通じて、HMK によるウズベキスタン全域の MSME に対する貸付等の金融アクセスを改善し、もって同国の持続的な経済成長に寄与するもの。

③ 本事業の受益者（ターゲットグループ）

ウズベキスタンにおける MSME。

(2) 総事業費：約 59 百万米ドル（内、JICA 融資額 35 百万米ドル）

(3) 事業実施スケジュール（協力期間）：

2023 年 10 月～2027 年 10 月

(4) 事業実施体制

1) 借入人：HMK

2) 事業実施機関：HMK

(5) 他事業、他援助機関等との連携・役割分担

1) 我が国の援助活動：特に無し。

2) 他援助機関等との援助活動：IFC との協調融資。

(6) 環境社会配慮

① カテゴリ分類：C

② カテゴリ分類の根拠：本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2022 年 1 月公布）上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

(7) 横断的事項：特になし

(8) ジェンダー分類：

【ジェンダー案件】■GI (S) ジェンダー活動統合案件

<分類理由> 審査でジェンダー主流化ニーズを確認したものの、ジェンダー平等や女性のエンパワメントに資する具体的な取組について指標等を設定するには至らなかったため。

(9) その他特記事項：特になし

#### 4. 事業効果

(1) 定量的効果

指標名	基準値 (2022 年実績)	目標値 (2026 年実績) 【L/A 調印より 3 年後】
MSME 向け融資残高 (スム)	4,055billion UZS	7,093billion UZS
MSME 借入企業数	29,986 社	40,796 社

参考値として、女性経営の MSME 向け融資残高、女性経営の MSME 借入企業数等をモニタリングする。なお、これらの定量的効果は JICA 融資分

のインパクトのみならず、HMKのMSME向け融資残高全体における目標数値である。

(2) 定性的効果

MSMEの金融アクセス改善。

**5. 前提条件・外部条件**

特になし

**6. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用**

エジプト・アラブ共和国「零細企業支援事業」の事後評価結果（2016年度）において、零細・小企業向け融資を支援する類似事業の案件形成時には、JICAは実施機関及び仲介融資機関の融資実施体制を把握することが重要であるとの教訓を得ている。本事業においては、審査を通じて、HMKの審査・リスク管理能力について精査し、特段の懸念がないことが確認された。

**7. 評価結果**

本事業は、当国の開発課題、開発政策、並びに、我が国及びJICAの協力量針・分析に合致し、HMKの資金調達拡充支援を通じて、同国におけるMSMEの金融アクセス改善に資するものであり、SDGsゴール8（金融サービスへのアクセス改善）、9（小規模企業の金融アクセス拡大による産業化促進）、及び17（パートナーシップ）に貢献すると考えられることから、海外投融資を通じた支援の意義は高い。

**8. 今後の評価計画**

(1) 今後の評価に用いる指標

4. のとおり。

(2) 今後の評価スケジュール（予定）

L/A調印3年後めどに事後評価実施。

以 上